

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくまるやまな園（児童発達支援：重心）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童のことを十分に理解し、特性等に応じた専門性（医ケア・重心等）のある支援を行っている	体調に応じた機能訓練を行い、毎回続けていけるよう工夫している。	保護者からの助言や、理学療法士のアドバイスを取り入れ、機能訓練を充実させていきます。
2	季節を意識したイベントや、製作を取り入れています。	保育士を中心に季節を意識した製作やイベントの取り組みをしてもらっている。また、その他スタッフ（看護師）も積極的に参加しています。	年間計画のイベント以外でも普段の活動のなかでの取り組みをスタッフ間で提案していくとともに、保護者も参加できるイベントを計画していく。
3	広々としたスペースを友好的に活用し、新たにデジリハを導入したことにより、個々の発達に応じた専門的支援に取り組んでいる。	個々での活動では、一人一人の成長に合わせ不得意なことを克服できるように取り組んでいる。また、集団での活動を踏まえ、子供たちの協調性を養えるよう、職員が見本となり取り組んでいる。	デジリハの導入から間もないため、さらに活用し専門的支援を強化していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	社会見学等の児童が出かける機会がなかなか設けられていない。	医ケア児が多いため、外出が難しい。寒い時期は特に体調管理を徹底するため。	近隣への外出（外気浴）や散歩は行っているため、体調に応じて安心して外出できる機会を増やしていきたい。
2	事故防止マニュアル・緊急緊急対応マニュアル・虐待防止マニュアル等が制定され、保護者に周知・説明。	事業所内ではマニュアルの策定・運用ができていますが、保護者への周知が十分でなかった。	現在策定しているものを、保護者様に周知していく。
3	地域の保育所、児童発達支援事業所等との交流や、保護者同士の交流	医ケア児がいるため容易に外部との交流をすることが難しい。	医ケア児が安心して過ごせる環境を整えながら、わくまるの別事業所と連携を図り、各種イベントに参加できる機会を増やしていく。